

# みあさづくり



## キッチンカーで美麻をPR<sup>(注)</sup>

地域づくり会議と一般社団法人地域づくり美麻は、本年度小さな拠点づくりの一環として、地元の特産品や美麻地区のPRを目的にキッチンカーを製作しています。昨年8月にデザイン・コンテストを開催し、応募11作品の中から入選した作品を参考にデザインを決定しました。ボディ塗装は、地元自動車修理会社リペアオート美麻の協力を得て下地処理を行いました。作業はワーキングホリデーで美麻に来られた大学生の鈴木七海さんと、コンテストで特別選考賞を受賞した鈴木こころさん（高校生）が、昨年10月から5回にわたり、塗装作業を手掛け、2月3日には、美麻小中学校3年生もデザインの一部である菜の花畑をペイントしました。児童達は、真剣な表情で塗装の

手伝いをしました。

キッチンカーは2月11日の大町あめ市においてお披露目されました。

今後は、県内外のイベントなどに出向いて美麻産の鹿肉を使ったジビエ料理や、開発中の花豆ソフトクリームなどの提供を通じ、地場産品や美麻地区のPR活動に活用したいと考えています。



**(注)** ここで言うPRとは、商品やサービスの訴求ではなく、理念や思想を打ち出した広告を出し、新しい暮らし方の提案や、従来の常識への問題提起などを行う活動のことでです。

QRコードを読んでパソコンやスマホでもご覧ください。

ホームページ  
美麻Wiki



facebook





## 地域の話題

## 1年間の集大成 源流美麻太鼓年末演奏会を終えて

令和4年12月25日、高三の私にとって最後の年末演奏会が文化会館であり、妹と二人だけの締太鼓の新しい曲を打つというチャレンジしました。しかし締太鼓を極めた妹との差は大きく、先輩方の付きっきりのアドバイスのおかげで本番に間に合わせる事ができ、先輩方の想いに心が温かくなりました。演奏会での緊張と先輩方への感謝の気持ちは絶対に忘れません。



卒業まで残りわずか。沢山の方々に支えられている事、大好きな太鼓を打てる環境がある事へ感謝し、卒業まで精一杯打ち込んでいきます。後輩達もその事を忘れず全力で楽しんで打ち続けて欲しいと思います。ご支援いただいた多くの皆様あ

りがとうございました。

(文責 源流美麻太鼓子供会 青木萌花)

\*締太鼓：細かいリズムを高速で打つこと。

## 地域のみんで1年間の無病息災(千見おんべ:1月7日)



千見地区では、子供会主催で毎年どんど焼きが行われています。子供の数が減少する中、約20人の参加があり、かや狩り準備からお飾り集め、おんべ立てと子供達は率先し作業に関

わり頼もしく感じました。夕方からは、特認校のご家庭や地域と関わりのある方々に参加頂き、賑やかに点火する事が出来ました。今年は更に、千見に住んでいた池田町の吉田



さんの「三線」の演奏を聴きながら、炎が立ち上る様子を見ることで感動的でした。おきになってから、お餅やマッシュマロを焼き無病息災を願いました。子供たちのたくさんの笑顔を見て、これからも地域行事を大切に続けていかれたらと思います。

(千見地区子供会 村越里美)

## 一年の健康と平穏無事の願いを込めて

美麻青具の重要文化財「旧中村家住宅」で家内安全と家の繁栄を願い300年以上続く正月恒例の「巻き俵」を1月6日(金)に行いました。この日は、地域で伝統文化の継承にご尽力をいただいている青具の北沢孝一さんと大町地区の市川尊典さんにご協力いただき作業を進めました。美麻地区内で昨年収穫された稲ワラを巻きつけ、麻ひもでしばって形を整えていき、直径50cm、高さ1.2mほどの大きさに仕上げ、上がった巻き俵に地域の繁栄と五穀豊稔、そして今年一年の健康と平穏無事の願いを込めました。(大町市文化財センター)





## 地域の話題

## 鹿皮の活用を考えるワークショップを開催



有害鳥獣対策の結果捨てられている毛皮の活用を考えるワークショップを昨年11月から開催していますが、今回は、2月9日のニクの日に合わせて開催したワークショップに

は、地区内外から15名の参加がありました。

講師には、有害鳥獣対策で発生する鹿皮を活用する「信州鹿



革エシカルプロジェクト」を主催されている千曲市のグルーバーレザーの徳永さん、原山さんを迎え鹿革で小銭入れを作り、作成後にはシビエ料理も堪能していただきました。

今後もニクの日に合わせてワークショップを開催しますのでご参加ください。

（美麻地域づくり会議 小さな拠点部会）

## メンドシーノ交流事業 5年ぶりの訪問へ

1月27日にメンドシーノ姉妹都市交流実行委員会が開催され、本年5月に訪問交流を実施することが決定されました。訪問交流は、国際化・情報化時代の中で、異文化とのかかわりや人々との交流により、次代を担う子供達の国際感覚を高め、広い視野に立った人づくりを目的に実施していましたが、令和2年からは新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていました。

今回の訪問は、来年度の7～9年生（3学年）

が8日間（5/12～19）の予定となっています。なお、今回の渡航費用については、燃料の高騰、アメリカの物価高、円安の影響を受け、個人負担が増加することから、寄付金やクラウドファンディングを実施することで負担軽減を考えています。事業実施に向けた皆様のご理解をお願い申し上げます。

（メンドシーノ姉妹都市交流実行委員会）

## スキーを楽しむ 山村留学生と美麻小中学生がゲレンデで交流

美麻公民館は（公財）育てる会八坂美麻学園と合同で1月8日、鹿島槍スキー場を会場に、スキー教室を開催しました。この日、山村留学生（以下、山留生）約30人に加え、公民館で募集した美麻小中学生10人が参加。八坂美麻学園と大町市の職員を講師に、レベル別に5人程度のグループに分かれ、技術指導を受けました。当日は、好天にも恵まれ、スキーレッスンにも力が入り汗ばむほどでした。滑り終えた美麻小中学生たちは、ゴーグルで下半分だけ雪焼けした顔で、「チョー楽しかった」「もっとやりたい」「山留生とも話せて楽しかった」と充実感いっぱい話しました。（美麻公民館）





## 地域の話題

## JOIN 移住・交流&amp;地域おこしフェア2023に参加



た相談会に参加していただきました。

## 【アンバサダーさんの報告】

今回の参加は大町市で出展するブースへの協力やお手伝いをメインとし、大町市定住促進アドバイザーの前川さんから事前学習をしていただき参

加しました。会場では定住・移住相談や地域おこしの関係者が参加し多くの方が相談されていました。参加して思ったのは、大町を知っていて来る人が多いので話しやすい面や、お試して住みたい場合に市民農園を紹介できることなどがありますが、大町市の過去の実績もあるのか頻りに相談者が来るのが印象的でした。

また、コミュニティスクールの紹介や子育ての事を案内すると喜んでもらえました。お子さん連れのご家族も多く、子供の遊べる場所や相談する環境にも工夫が必要だと感じました。移住者、主婦、子育ての経験が役に立つ事が分かり、他地区の人達とも話せ、情報を得られ貴重な体験が出来ました。

また、コミュニティスクールの紹介や子育ての事を案内すると喜んでもらえました。お子さん連れのご家族も多く、子供の遊べる場所や相談する環境にも工夫が必要だと感じました。移住者、主婦、子育ての経験が役に立つ事が分かり、他地区の人達とも話せ、情報を得られ貴重な体験が出来ました。

## そりあそび、楽しいね！（みあさ保育園）

今年も子どもたちは、カチカチに凍った雪の上でそり遊びを楽しんでいます。「誰が遠くまでいけるかな競争」の始まりです。「いくよー！」と元気な声が飛び交い、滑り終わったら「もう一回やる！」と繰り返し楽しんでいます。遠くまで滑れた子は「やったー!」、負けちゃった子は「すごいね!」「どうやったら遠くまで行くんだろう?」と作戦を考えています。また、「一緒に滑ろう!!」と友だちを誘い合い、横並びで滑ることも楽しんでいます。「せーのっ!」と大きな声でみんなそろって、いざ出発!! 出発は一緒なのに途中で転んだり、まっすぐ滑れなかったりし、いろんな位置でゴール!! 滑り終わった後、子どもたちで顔を見合わせ、「ははは!」と声を出し笑い合っています。滑って「速かったね!」「風が気持ちいいね!」「またやりたい!」とそり遊びを楽しんでいます。(文責 保育士 竹村僚太)



連載

美麻の口碑伝説

～語り継ぐ郷土の心～

十六

## 姥懐が池の主

(今回は、千見の話)

昔、千見の長崎に、大きな姥懐が池があった。働き者の利助は母親と二人暮らし。村人の世話でしまと言っ嫁をもらったが、姑が意地が悪く辛くあつた。ある夜、機織りをしていたしまに、姑は「いつまで手ませえして手間かけてるだや。明日中にとつても織り上げろ。」と強く言いつけた。しまは、飯も食わずに織り続け、ふと空を見ると、太陽がもう少しで沈みそうだった。「まあ大変!」と太陽に手を合わせた。すると、太陽はスーッと戻り、しまは、織り続けた。やっとのことで織り上げた。「おやつ?」どうせ織れねえと思ってたが、先々、どさまく(たくさん)織っとくれ。」姑は布を見つめた。しまは、機のちきりをかついて姥懐が池の岸辺へ行き、夕闇の空に残る明るみに向かって礼を言うと、池の中に飛び込んだ。しばらくして、しまに似た顔の大蛇が池にいますとうわさになった。「姑にいじめられて、池に沈んだ、もうらしい(かわいそう)しまさんを神様が池の主にくれたすら。」と村人たちは集まるたびに話していたすら。

※ちきり…機織りのたて糸を巻きつける部品



## コミュニティ・スクールのお話



12月16日、1年生のところへスクールパートナーズの阿部さんに「イワナの卵」をお持ちいただきました。

一人ひとりにイワナの卵を配ってもらい、小袋に入った卵を見ると、黒い眼が卵の中に見えまし

### 「眼が動いているよ」 イワナのたまごの観察スタート（1学年）

た。「眼が動いているよ」と誰かが言うと、みんなが自分に配られた卵をよく見だしました。動いているということは、そこに命があるということですね。

配られた卵の数を数えると全部で642個でした。阿部さんは「目標はそのうち500個がふ化できればいいよ」と言いました。これから、水温を測ったり、水が汚れないように死んでしまった卵を取り除いたりとしていきます。最後に水槽の中に卵を入れ、水を循環するようにポンプを動かしました。たくさんの卵が元気にふ化できると思います。卵がふ化し、時期が来たら、川へ放流するそうです。その日まで毎日、水槽をよく見ていきましょうね。（文責 1学年担任：野本和幸）

## わくわく☆ドキドキ2「クリスマス会」（2年生）

12月22日(木) にクリスマス会をしました。2時間目は、1年生と楽しみたいということで、2年生が考えたゲームをしました。1年生に花を持たせるかとおもいきや真剣勝負でした！

そのあと、的あて、ボーリング、ガチャガチャの3つのコーナーに分かれて遊びました。1年生もとても楽しかったみたいで、休み時間になっても残ってやっていました。

休み時間には、2年生の希望で9年生をゲームコーナーに招待しました。9年生も楽しみにしてくれていて、「先生ありがとう、2年生とっても楽しかったよ」と言ってくれました。

3時間目は、ビスケットに色々のせて食べまし

た。1年生や9年生にも届けました。「すごいね！」と9年生にも褒められて、1年生によろこばれて嬉しそうでした。（文責 2学年担任：松澤 享）



お手製のガチャ  
色々な景品

## お池の冬支度をしました。（3学年）

スクールパートナーズの阿部さんと相談しながら、持続可能な冬越えの準備を計画しました。はじめは小屋を建てる発想でいた子ども達ですが・・・春に取り外してまた取り付けて・・・を毎年することは難しいということになり、水面にスチレンボードを浮かべ、池に雪が入らないような屋根をつくることにしました。スチレンボードがポロポロにならないように、スチレンボードをプラスチック段ボールで挟み、黒ガムテープで巻いたものを池に浮かべることになりました。大変な作業でしたが、興味津々の子ども達は、休み時間も作業をして完成させました。

また、お池に丸太を数本渡し、そこに板を引い

て雪を防ぐことにしました。作業始めは、丸太は重いので、一人では持てませんでした。すぐに端と端を持ちながら池の両岸に分かれて、うまく運ぶことができるようになっていました。お池の生き物が無事に冬越えできることを願っています。

（文責 3学年担任：矢口秀幸）





## コミュニティ・スクールのお話

## 茅刈り体験（4学年）



12月8日（木）に美麻の茅葺屋根職人の渡辺さんを講師として、茅刈り体験に行ってきました。4年生は、この茅を使って、総合で取り組んでいる小屋の屋根を作ろうと計画しています。茅刈り体験では、長いすすきを根本から切る姿や、3年生の時の経験を活かし、すすきをまとめる子どもたちの姿がありました。茅刈り体験の後は、渡辺さんが学校まで足を運んでくださり、小屋作りのアドバイスもいただきました。丈夫な屋根を作りたい子どもたちにとっても大切な話をいただきました。（文責 4学年担任：鳥屋 心吾）

## 地域大先輩に習う（5学年）

12月21日（水）地域の方と、もちつき体験としめ縄作り交流をしました。もちつき体験は、自分たちで育てたもち米を初めて食べる機会でも、米作りでお世話になった北沢孝一さんを中心に、もちつきの極意を教わり順番に杵でつきました。出来上がったお餅をおいしくいただきました。しめ縄作りも熱心に取り組み、自分で作ったしめ縄を大事に持ち帰る子どもたちの姿がありました。

いろいろな交流が難しい世の中、こうした機会を設けていただき、地域の大先輩の皆さんから元気をいただいた交流会でありました。（文責 5学年担任：松尾真理子）



## はりきって！部活体験（6学年）

11月の3日間、5・6年生で美術部とバドミントン部それぞれの体験をしてきました。中学生の先輩に教えてもらいながら1時間活動に取り組みました。ランニング、体操、ラケットの持ち方を教わって素振り、そして先輩とのラリーや試合などを体験しました。「中学生はテキパキ動いていてすごいと思った。」「去年はやらなかった、シャトル拾いができるようになってよかった」などの感想がありました。

（文責 6学年担任：太田さや香）



## ありがとう7年生(7年生を送る会)



12月20日にステップ期で7年生を送る会がありました。来年からジャンプ期となる7年生に向けて感謝の気持ちを伝えようと、5、6年生が企画してくれました。「いすとりゲーム」、「しりとり爆弾」を行いました。どちらの企画も、学年入り混じって楽しそうにしていました。たくさんの笑顔があふれた1時間でした。

（文責 7学年担任：中野拓哉）



## コミュニティ・スクールの話題

## 「夢の時間」～12月16日発表会～ 8学年

11月下旬から12月上旬、総合的な学習の時間は、「市民科」ではなく「夢の時間」として、個人の追究したいことに取り組んできました。最後は、4年生から9年生が、なかよし班に分かれて、お互いの追究した内容を発表し合いました。毎年、この時間いろいろな友達の発表を聞いて、運動あり、調理あり、将来関わりたい分野や職業について調べたり、興味関心のある趣味などについて実際に作成したりしていて、いつも面白いな～と感じます。来年は何を追究しようかな？楽しみになります。（文責 8学年担任：小山保男）



地域の方、他校の先生、保護者がたくさん参観に見えました。

## ～みんながつながる自治総会～ 9学年



様々な事情で当日に会長、副会長不在？山留生もいない、そんな中、「できるだけいつもの生徒総会にするには」を一生懸命考えました。そして、学校にいない人たちには個人の端末を利用して参加してもらうなど工夫して、立派な自治総会を創り上げることができました。

オンラインで参加した人たちも、体育館で参加

した人たちも、今年の活動について一緒に話し、発表に拍手して、同じものを共有できた時間でした。総会後半の対話で、一人一人が「前は〇〇だったけど、今は〇〇できるようになった」ことについて振り返りました。今年のスローガンは「Try & Up! みんなで咲かせよう美麻の花」でしたが、対話の中で一人一人が挑戦して成長した自分に気づく場になったのではないかと思います。9年生にとって、いろいろな「最後」がやってくる時期になりました。これからも一つ一つ増えていく「最後」だからこそ、一つ一つを大事にしていってほしいと思います。

（文責 9学年担任：森川 寛）



## ～自立を目指してお買い物学習～ 白樺2組

延期が続いていましたが、12月15日ようやくお買い物学習に行ってきました。晴天に恵まれ、バスや電車からの眺めとてもよかったです。目的地のイオン豊科店では、お小遣い（1,000円）を財布に入れ、思い思いの買い物を楽しんでいました。買い物後は、楽しみのケンタッキーフライドチキンでのランチをおいしくいただきました。

この校外学習を通して、二人は社会に出て、バスや電車に乗って、行きたいところに行き、好きな物を食べて、買い物を楽しむことができるなと思いました。（文責 白樺2組担任：渡島正次）





## 会員団体紹介 「ふたえ里山整備協議会」

ふたえ里山整備協議会は、森林所有者の方々のご協力のもと、里山の自然環境を活かし間伐材の有効利用、遊歩道のレクリエーション利用等を仲間達と協力しながら楽しくできればとの思いで設立しました。一昨年より二重宮村地区で山仕事創造舎さんに森林整備をしていただいた小山の頂上にチップを敷いて歩きやすくし、北アルプスを展望できる「丘の上の公園」として整備を始めました。二年目には北アルプスの絶景を眺める巨大ブランコを設置し子供や大人も喜んで遊びました。昨年は、木製ドームテントやジップライン等の遊具の設置を行ったところです。仲間達との語り合いでは色々な案が出てきて、これからも皆さんを巻き込んで、里山整備と合わせた楽しいイベント等ができるようにしたいと思います。(会長 大塚一男)



## 地域づくり事業提案募集

美麻地域づくり会議では、会員の皆様から地域のためにやってみたい事や支援、協力をして欲しいことを募集します。現在まで、以下に示す取り組み等について勢力的に活動を行なっております。

- 美麻の特産品（花豆・シビエ）について
- 有害鳥獣被害低減事業について
- 集落周辺等の環境整備について
- 移住・定住の促進について
- 道の駅の活性化について など

美麻地区が活性化するような提案のある方は、3月8日（水）までに、別紙の折込用紙へ記入をしていただき事務局まで提出して下さい。

## 美麻地区連合自治会からのお知らせ

令和5年1月30日に美麻地区連合自治会総会が開催され、令和5年の役員選出や、事業計画・予算について審議を行い、全員の賛成により可決しました。自治活動・行政連絡等の調整、行政への地域陳情活動を担って参りますので、自治会員の皆様のご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

(美麻地区連合自治会長 小林敏文) ※任期は1年間

### ●令和5年美麻地区連合自治会役員（敬称略）

会長 小林 敏文（二重）  
副会長 細井 忠（大塩）  
常任委員 横山 和夫（青具）  
監事 和田 義明（新行）  
監事 小林 薫（千見）

### ●令和5年5地区自治会役員

大塩（会長）細井 忠、（副）竹内 稔  
二重（会長）小林 敏文、（副）種山 亮平  
新行（会長）和田 義明、（副）和田 一孝  
青具（会長）横山 和夫、（副）伊藤 賢市  
千見（会長）小林 薫、（副）下條 寿道

## 民生児童委員が委嘱されました。

民生委員・児童委員は、地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役を務めます。

### ●民生児童委員（敬称略）

高木 千枝（大塩）  
大西 真千子（大塩）  
佐藤 京子（二重）  
酒井 孝芳（新行）美麻地区会長代理  
北沢 孝一（青具）美麻地区会長  
伊藤 賢市（青具）  
清水 一弘（千見）  
宮沢 雄一（青具）主任児童委員

※任期：令和4年12月1日～

令和7年11月30日まで

お問合せ先 美麻支所民生係29-2311

## みあさ保育園の4月からの休園について

みあさ保育園について、来年度入所児童がないことから、令和5年度から休園することになりました。人口減少やライフスタイルの変化、認定こども園や認可外施設等の選択肢が増えたことなど様々な要因によるものと考えますが、休園によって地域の皆様にはご心配等をお掛けします。（美麻支所民生係）

## ■ 編集・発行 美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info